

テーマ

物体とその情報の統合を利用した ロボット支援

研究 名称

ICタグを用いたロボット制御とその応用

適用 分野

自動化、流通、建設作業、
システム統合

氏名 所属

梅谷智弘 教授
知能情報学部 知能情報学科



内容

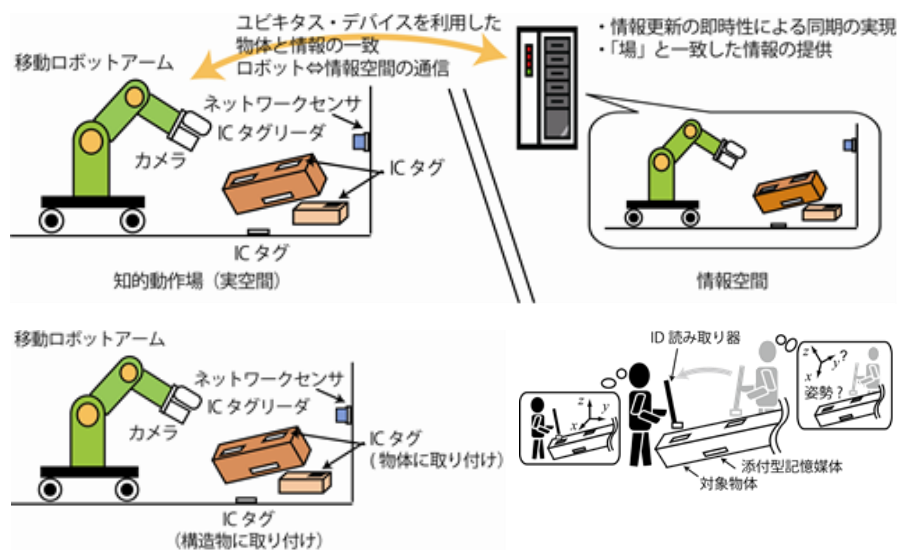
●特徴

ロボットを知的に動作させる枠組みとして、ロボット自身の知能化を目指すだけでなく、ロボット周囲に存在する環境中の物体に添付されたICタグなどの記憶媒体を用いて効果的に知能化を実現することを目指している。物体とその情報とをICタグを介して統合することで、効果的な情報取得を実現する。

●研究内容

ICタグなど、物体に取り付けられる記憶媒体を用いて、ロボットや作業者が確実に識別でき、物体に関する情報を取得できる環境を構築する。作業前後で状態が変化する物体に関する情報を効率よく蓄積、更新することを目的としている。ICタグが物体に取り付けられていることを利用して、組み合わせさせた物体の効率的な情報取得や、ICタグの読み取りを利用した物体の位置姿勢の推定手法について研究を行っている。ICタグを利用した物体とその情報の統合を実現することで、ロボットのみでなく、作業者が安全かつ効果的に作業を実施できる知的

環境の構築を目指している。



図：ICタグを利用した物体と情報との統合とその応用

キーワード

ICタグ、ロボット、環境知能化、自動化、システム統合

連携方法

■ 講演 □ 研修 ■ 研究相談 □ 学術調査 ■ コメントート ■ 共同研究